

熊本でサッカーを“プレーする・応援する・支える”すべての人に

KFA NEWS

Kumamoto Football Association News ▶ <https://kumamoto-fa.net/>2021.3
SPRING No.19

熊本県サッカー協会広報紙

2021年3月31日発行 通算第103号

発行者／一般社団法人 熊本県サッカー協会 広報委員会

キッズからシニアまでが集う スポーツ文化の発信拠点に

特集

熊本県サッカー協会
会長 前川 隆道熊本県フットボールセンター(仮称)
2022年夏完成に向けスタート

「熊本県フットボールセンター(仮称)」の建設は、2015年の田川前会長就任時から熊本県サッカー協会(KFA)の中期目標の一つで、「熊本県を全国で有数のサッカー王国に育てる」と並ぶ、協会の悲願とも言える事業です。

2016年の熊本地震、さらに昨年にはコロナウイルス感染拡大など、さまざまな困難に見舞われながら、一歩ずつ着実に準備を進め、嘉島町のご協力を得て、今回ようやく建設計画を皆様にお知らせできる運びとなりました。

同センターは、単にサッカーファミリーののためのグラウンドというだけでなく、保育園、カフェ、コワーキングスペースなども併設する複合施設として、近隣住民の方々や他のスポーツも交えたスポーツ文化の発信拠点として整備する計画です。

今回のように、都道府県協会が単独で専用競技場を建設・運営するという事業は全国的にも珍しく、センターがKFAにとって「熊本を全国有数のサッカー王国にするための拠点となるだけでなく、地域にサッカー＆スポーツ文化を根付かせるうえでのモデルケースとしても注目を集めることになると考えています。

こうした施設は、完成が「ゴール」ではなく、完成を「スタート」として、どのようにに活用していくかが重要です。その意味で、今後はサッカーファミリーをはじめ、多くの皆様のご意見を取り入れながら運営を行っていきたいと思います。一方で、コロナ禍で社会経済が疲弊している中、建設には資金面を含め多くのハードルもあり、寄付や出資などを通じた皆様の支えが必要です。チーム・指導者から呼び掛けの際は、何卒ご協力のほどよろしくお願い致します。

完成は来年8月の予定ですが、私はすでにセンターのグラウンドで次世代の日本サッカーを担う子どもたちが楽しくボール蹴っている姿を想像しています。さらに、キッズからシニアまで、さまざまな世代の交流の場になることも期待しています。完成の暁には、ぜひ皆様も足を運んでいただきますようお願いいたします。

用具の貸出を行っています!

アレが
足りない...

熊本県サッカー協会では、所属チームやクラブ、都市協会などへ、マイクロバスやサッカーゴール(少年用)、フットサルゴール、自動体外式除細動器(AED)などの用具貸出を行っています。ご希望の方は、県協会事務局(☎096-247-6980)までお問い合わせください。

※一部使用料・協力金をいただきます。
※貸出用具の一部はtoto助成事業にて購入しています。

貸出用具
の一例

AED(自動体外式除細動器)



移動用マイクロバス(29人乗り)

貸出用具の詳細などは熊本県サッカー協会ホームページでご確認ください

KFA NEWS

熊本県サッカー協会広報紙

広告協賛募集中

熊本県サッカー協会では、熊本のサッカー情報や活動状況をより多くの皆様にお伝えするために、本協会に所属していただいている会員(チーム)向けに機関紙「KFA NEWS」を発行して参りました。

2015年度から、さらなる紙面の充実と親しまれる広報誌にするために「KFA NEWS」のリニューアルを行い、広告協賛を募集しております。

仕 様：タブロイド版・8ページ 横273mm×縦406mm
内容 発行部数：5,000部／1回
配布対象：会員(約600チーム)、公共施設、スポーツ施設、各種イベント

詳細は熊本県サッカー協会ホームページよりご確認ください。

熊本県フットボールセンター(仮称) 2022年夏完成に向けスタート

地域に開かれた施設として 熊本のスポーツ文化醸成に寄与

いよいよ始まる熊本県フットボールセンター（仮称）の建設。本格着工を前に、紙面を通してサッカーファミリーの皆様へ、これまでの経緯やセンターの概要のほか、建設資金の内訳などをお知らせします。

フットボールセンター建設の 経緯と完成までの流れ

2015年からスタートしたフットボールセンター建設に向けた話し合いと準備。これまでの一連の経緯と、来夏の完成までの予定をお知らせします。

2015(平成27)年

- 6月7日 田川憲生会長が就任、「熊本県を全国で有数のサッカー王国に育てる」、「熊本県フットボールセンターの建設」を目標に掲げる。
- 6月19日 JFA-47FA都道府県協会訪問会議にて「JFAサッカー施設整備助成事業」の概略について説明を受ける
- 8月10日 JFAサッカー施設整備助成事業についての勉強会の実施
- 11月4日 第1回フットボールセンター建設委員会開催
- 11月18日 臨時理事会にて「フットボールセンター建設委員会」設置決定
- 12月4日 第2回フットボールセンター建設委員会開催

2016(平成28)年

- 1月26日 第3回フットボールセンター建設委員会開催
- 4月14・16日 熊本地震発生。以降、フットボールセンター建設委員会も一時中断

2017(平成29)年

- 7月18日 第4回フットボールセンター建設委員会開催
- 8月30日 第5回フットボールセンター建設委員会開催

2018(平成30)年

- 3月10日 株式会社AS 坂口氏から設立に向けた提案
- 8月17日 建設委員会にて協定書最終確認・マスタープランの確認
- 8月24日 第6回フットボールセンター建設委員会を開催し、マスタープランの説明・課題の確認
- 10月5日 第7回フットボールセンター建設委員会を開催。JFAを入れての計画について検討を実施
- 12月5日 第8回フットボールセンター建設委員会を開催。今後の方向性及び進め方の確認を行う
- 12月28日 熊本大学・田中先生、星野先生とのプレストを実施

2019(平成31・令和元)年

- 4月～ 各種見積開始。並行して事業計画のブラッシュアップを行う
- 6月9日 前川隆道会長が就任、「熊本県を全国で有数のサッカー王国に育てる」、「熊本県フットボールセンターの建設」を実現に向けて前進していく事を表明
- 7月26日 第10回フットボールセンター建設委員会を開催。設計事務所と契約し、具体的な建設計画を作成していくことを決定
- 10月24日 第11回フットボールセンター建設委員会開催

2020(令和2)年

- 3月31日 金融機関との交渉開始
- 5月13日 第12回フットボールセンター建設委員会開催
- 9月9日 第13回フットボールセンター建設委員会開催
- 12月16日 第14回フットボールセンター建設委員会開催
建設費及び寄付等について検討

2021(令和3)年

- 2月1日 JFA須原専務理事と事業計画について意見交換
- 3月 嘉島町から設置管理許可受理
- 4月 寄付募集開始／工事開始
- 5月 ファンド募集開始
- 6月 保育園スタッフ募集(運営団体)
フットボールセンタースタッフ募集

2022(令和4)年

- 3月 企業主導型保育園開園
- 8月 熊本県フットボールセンター全体オープン

「持続」と「醸成」を コンセプトに運営



(株)熊本フットボールセンター
代表取締役
松下 涼太

「熊本県フットボールセンター(仮称)」は、嘉島町が用地を取得・造成後、KFAが施設を建設します。施設完成後にグラウンドや収益施設の運営を行うのは、KFAが出資する100%子会社「株式会社熊本フットボールセンター」です。

同センター設立の大きな柱の一つは、「熊本県を全国で有数のサッカー王国に育てる」ための拠点づくりです。しかし、センター運営にあたっては、それだけにとどまらず、「持続可能であること」と「スポーツ文化の醸成」という2つのコンセプトを掲げています。

長期に亘って持続可能な施設を目指します。また、サッカーグラウンドとしてだけでなく、さまざまな世代がスポーツを媒介にして豊かな時間を過ごせる場にする事で、熊本のスポーツ文化を醸成していきたいと考えています。

加えてセンターでは、立地する嘉島町をはじめとする近隣地域とのつながりも重視しています。カフェやコワーキングスペースなどの利用を通じてサッカー以外の目的でも人々が集う場にしていくのもとより、出店する店舗などの事業パートナーも、できるかぎり地域の方たちにお手伝いすることで、地域内で人やお金が循環する仕組みを作ること目標としています。

「熊本県フットボールセンター(仮称)」では、 こんなことを行う予定です！

「熊本県フットボールセンター(仮称)」は、単にサッカーグラウンドとしてだけでなく、さまざまな活動や交流の拠点となる複合施設を目指しています。きっと皆さんのライフスタイルに合った使い方が見つかると思います。

土日・祝日はKFA主催大会、公式戦を中心に使用。平日はさまざまなカテゴリーのチーム活動やサッカーだけでなく、他のスポーツでの活用を計画しています。

グラウンドや広場が隣接する恵まれた環境。サッカーの指導ノウハウなどを生かした保育、また嘉島町、近隣住民の方とも連携して子ども達にさまざまな体験を提供する予定です。2021年9月頃から願書受付開始。

施設に入居する企業・団体のほか、土日・祝日の利用団体(チーム等)や近隣住民など、さまざまな方が利用できます。

シェアオフィスやコワーキングスペースを設置。オフィスとしての定期利用はもちろん、テレワークや副業のためのワークスペースなどに活用してもらうなど、異業種・多世代の交流拠点を目指します。

施設内の多目的スタジオは、平日はヨガやダンス等のレッスン場としてのほか、研修会や会議室としても利用可能です。また、土日・祝日の大会開催時には、大会運営本部等さまざまな利用を想定しています。

平日は活動交流拠点の利用者や保育園・グラウンド利用者の送迎の保護者への飲料や軽食の提供を行い、大会開催時には選手・保護者への弁当販売なども計画しています。

熊本のサッカーの未来への投資 寄付・出資で9,000万円を集めます！

2022年8月オープン予定の「熊本県フットボールセンター(仮称)」の建設には、多額の費用が必要になります。建設費は6億円を超えますが、今回の計画ではそのうち約9,000万円を寄付および投資(出資)によって集めることにしています。

現在、県出身のプロサッカー選手の方々への呼び掛けを行っている一方、今後は県内外のサッカーファミリー、サッカーファンなどにも広く呼び掛け、より多くの方々から寄付・投資を募る予定です。今後、寄付・投資依頼のサイト立ち上げやチラシ配布を行っていきますので、ぜひご協力をお願い致します。

「熊本県フットボールセンター(仮称)」 建設資金の内訳

合計 6億1,400万円

寄付 3,000万円	協会自己資金 6,000万円
出資+投資 6,000万円	その他 JFA等補助金、 銀行借入、助成金等 4億6,400万円
合計9,000万円	

熊本県サッカー協会の新型コロナウイルス感染拡大防止対策

コロナ禍での協会の対応や今後の見通し

新型コロナウイルス感染拡大から1年が過ぎました。この間、未知のウイルスによる私たちの生活や経済への影響は甚大で、飲食やイベントの自粛を含め、さまざまな場面で“新しい生活様式”を求められるようになりました。

また、コロナ禍の影響は市民生活や経済だけにとどまらず、スポーツ界にも多大な影響を与えました。東京オリンピックの1年延期をはじめ、各種プロスポーツの開幕延期や無観客試合開催、高校総体や甲子園などの学生大会も軒並み中止となりました。そうした中、熊本県サッカー協会でも、県内のサッカーファミリーが安心してプレーできる安全な環境づくりを目指し、昨年からさまざまな取り組みを行っています。まもなくワクチン接種なども始まるとはいえ、まだまだ収束に向けた先行きが見通せない中、今後の対応なども含め、当協会の今田周作専務理事に話を聞きました。

サッカーファミリーが安心・安全にプレーできる環境を実現するために全力を



一般社団法人 熊本県サッカー協会
専務理事 今田 周作

昨年1月16日に、国内での初の感染者が確認されて以来、1年以上にわたって続いているコロナ禍。日本サッカー協会(以下JFA)からは、3月27日に各協会の主催事業の中止・延期を求める通知がありました。熊本県サッカー協会(以下KFA)ではそれに先立つ2月末から各種別からの問い合わせが増え、3月初旬から独自に大会等の中止・延期を判断。4月からはJFAのガイドラインに沿って判断するようになりました。

現場での適切な対応を周知してきました。

特に、一度目の緊急事態宣言が発出された昨年4～5月ごろには、練習しているチームを見た近隣住民からKFAへの問い合わせがあったこともありますが、そうした注意喚起を行い、(各チームが)適切に対応している旨をご説明してご理解いただきました。

各種別からの問い合わせを受けたKFAでは、繰り返し対応策を検討しましたが、その時に最優先で考えたのは、選手・スタッフ・関係者(保護者等)の安全と健康が第一ということ。ただ、主催事業は中止・延期など、試合(イベント)自体を「行わない」ということで感染拡大を防止することができず、各学校やクラブチームの練習までを一律に中止させることは困難でした。KFAでも、JFAのガイドラインや各都道府県協会の対応などを参考に、これまでホームページ等を通じて計10回の注意喚起の通知を出し、

JFAのガイドラインに沿って健康チェックシート記入などを義務付け

その後、一度目の緊急事態宣言が解除された5月以降、JFAが試合や大会再開に向けたガイドラインを出し、KFAでもその内容に沿って独自のガイドラインを作成しました。マスク着用や手指消毒など、新しい生活様式への対応はもちろんのこと、試合に関わる選手・スタッフには、試合2週間前からの健康チェックシート資料1参照への記入を義務付けました。また、主催者や運営側には、試合の準備

から当日・試合後までの感染対策チェックリスト(資料2参照)を渡し、必要な感染対策を実施しているかどうかを確認できるようにしました。

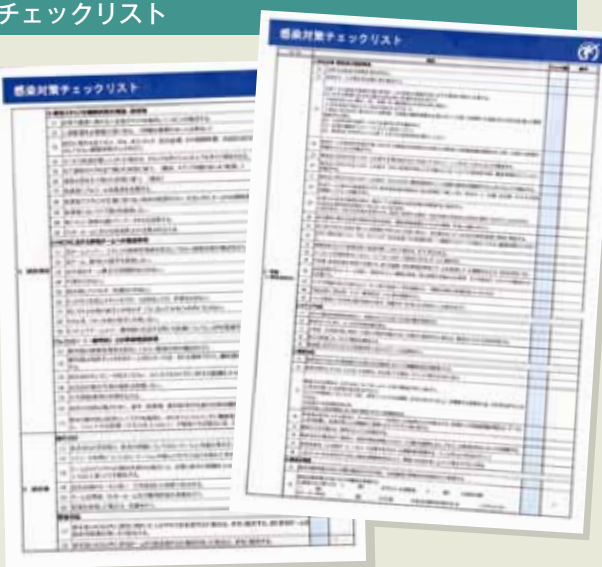
これらに加えて、試合当日も参加する選手らにしっかりと目配りを行い、少しでも体調の悪そうな選手には声を掛け、参加を見合わせるよう促すなどの対応を行いながら、徐々に試合・大会の再開につなげていきました。ただ、ただだけ対策を講じてても、感染を100%防ぐことはできません。それでも、ガイドラインに沿った対策を打ち出すことで、選手・スタッフ、大会関係者に意識付けができることが大きいと考えています。また、チェックシートなどの記録を残しておくことで、万一感染者が出た場合の追跡などにも役立ちます。

今の状況でできることを模索しながら常にリスクマネジメントを念頭に

今回のコロナ禍、これから収束へ向かうのか、それともまた感染が再拡大するのか、全く状況が見通せません。しかし、今後もこうした事態が起こりうるかもしれないという意識が私たちの中に芽生えたことは間違いありません。これまでは考えもしなかった「withコロナ」の状況を当たり前に捉え、その中でできることを考えながらやっていくことが重要だと考えています。さらに、感染の再拡大や新たな感染症のまん延など、何が起こってもおかしくない状況を念頭に置き、「何か起こった時の対応」ではなく、それに備えるリスクマネジメントとして準備しておく必要があると思います。

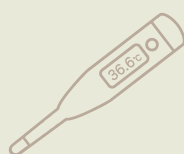
資料2／感染対策チェックリスト

試合前日までの準備段階から試合当日、さらに試合後までの確認事項、約70項目を列記したチェックリスト。



資料1／個人健康チェックシート

試合やイベント参加に際して選手、スタッフ等に提出を義務付けている「個人健康チェックシート」。開催の2週間(14日間)前から当日朝までの体温や健康状態を記入して、当日提出。





子ども達の「未来」のために、 「今」を変えるのが大人の役目



「2種の先生方や保護者の皆さんの協力 大会を運営することができました」 〈厚〉



あつ はる ひと
厚 晴仁さん
1975年8月2日生まれ。北部町(現熊本
本市)出身。熊本商大付属(現熊本学
園大付属)高時代、GKとして全国高
校サッカー選手権大会に出場しベス
ト8。東四国国体少年男子でベスト
16に進出。福岡大学卒業後、母校で
ある熊本学園大付属高校で非常勤講
師を5年間務めたのち、2002年4月
より同校教諭。2009年より熊本県
高体連専門委員、2020年より熊本
県高体連専門委員長を務める。

―まずは令和2年度の2種年
代の振り返りから聞かせてく
ださい。新型コロナウイルス
の感染拡大が、大会運営にも
影響を及ぼしたと思います。
厚 昨年3月から学校が休校
になり、高校総体が開催でき
ないということが決まりました。
とで、県大会がなくなること
で、県大会も開催できませ
んでした。

―熊本県サッカー協会(KFA)
の2種委員会、高体連の専門
委員会として、どう対応した
のでしょうか。
厚 休校期間中で、代替大会
開催が決まったのも本来の高
校総体の日程の後でした。高
体連からは、「やり方は各種目
に任せる」との通知がありま
したが、サッカーの場合、バ
ス移動や遠方の学校だと宿泊
も伴うため、全校が出場する
県大会は難しいと判断しまし
た。例年、高校総体前に行っ
ている地区大会もできていな

かったので、「3年生のために
やってあげなければ」との思
いもありました。開催期間が
長くなると、その間に感染が
拡大して途中で打ち切らざる
を得なくなる可能性もありま
す。さらに、例年の高校総体
より1カ月近く遅い開催なの
で、受験準備への影響を最小
限にできるよう、7月の4連
休で完結できる日程を組み
、地区大会形式で開催するこ
にしました。

―平岡先生が総監督を務める
大津高校が参加している「高円
宮杯U18プレミアリーグ」は、
高体連ではなく日本サッカー
協会主催です。昨季はスーパ
ープリンスリーグという形で開
催されましたが、どのような経
緯で決まったのでしょうか。
平岡 当初は例年通り開催す
る方向でした。しかし、日本
サッカー協会の田嶋幸三会長
の感染によってサッカー協会
自体がクローズしてしまい、
「運営としても全国をまたい
での開催は難しい」ということ
になりました。ただ、プレー
ヤーズファーストの考え方で
「どうすれば開催できるか」を
検討し、「県をまたぐ移動を最
小限にして、なんとか地域ご
とに試合環境を作ろう」という
方向でまとまりました。そこ
で、プレミアリーグ参加チ
ームを各地域のプリンスリーグ
に組み込み、地域ごとに開催
することになったわけです。

―厚先生から「3年生のために
やってあげたい」との話があり
ました。先生方にも柔軟な発
想が求められたわけですね。
厚 3年生の多くは高校総体
で部活動を引退するので、「何
が生徒たちのためになるの
か」「3年生が揃ってプレーで
きる、区切りになる機会を
作ってやりたい」という思い
は、各校の先生方も持ってい
たと思います。

平岡 日本サッカー協会でも
ずっと言われていたのは、「こ
ういうときこそ大人が知恵を
絞り出そう」ということ。多く
の種目がある高校総体で足並
みを揃えるのは難しかったと
思いますが、サッカーはチー
ム

ワークも良く、日本サッカー
協会がいち早く試合を開催す
る際のガイドラインを出すな
ど、他の競技団体より比較的
早くかつスムーズにコロナ対
策が取れていたと思います。
また無観客とはいえ、プロ野
球とJリーグ、大相撲などが
スタート(または再開)していた
ことも、スポーツ界にとって大
きなプラスだったと思います。
―運営面で工夫した点や、開
催してみて出てきた改善点な
どはあったのでしょうか？

厚 日本サッカー協会のガイ
ドラインに基づき、無観客で行
うことは難しくありませんで
した。しかし、3年生にとって
は最後の大会になるので、「ぜ
ひ保護者に見てもらいたい」と
いう思いがあり、「どうすれば
観戦可能な形で開催できるか」
ということからスタートしま
した。感染防止対策として、検
温や入口での手指消毒、観戦
時のソーシャルディスタンス確
保に加え、先発メンバーの試合
前検温なども徹底しました。
その結果、代替大会が実施で
き、「これなら選手権大会も観
客ありで開催できる」という手
応えを掴めました。感染者を
出すことなく無事に大会を終
えられたことで、「こういう対
策を取れば(大会を開催でき
る」というノウハウができたこ
とが大きかったですね。2種の

先生方や保護者の皆さんに理
解・協力していただき、その後
の冬の高校選手権大会を滞り
なく運営できたことにも、大
変感謝しています。

平岡 感染のリスクをゼロに
することはできませんが、一人
一人の努力で軽減はできます。
その努力を積み重ねることで、
「みんなにとってハッピーだか
ら、みんなで協力しましょう」
「プレーヤーズファーストの中
で構築してきた新しい生活様
式を最後までやりましょう」と
なっていくのが、スポーツでの

「苦しいことを避けてはチャレンジしていく、 その『人間力』を作ることが重要」 〈平岡〉



ひら おか かずのり
平岡 和徳さん
1965年7月27日生まれ。松橋町(現
宇城市)出身。豊川小、松橋中を経て
帝京高(東京)へ進み、3年時に主将
として全国高校サッカー選手権大会
で優勝。筑波大学卒業後、熊本県教
員となり、県立熊本商業高校に赴任。
5年間勤務ののち、1993年に県立大
津高校に異動となり、多数のプロ選
手や日本代表選手を育成。2017年
より、宇城市教育長として地域の教
育行政に関わる傍ら、大津高校サッ
カー一部総監督も務める。

―中学生が県外の高校やJク
ラブのアカデミーに進むこと
についてのご意見をお聞かせ
ください。
平岡 私が「県外流出組」とい
う呼称の入り口を作った張本
人です笑。確かに県外への選
手流出はありますが、逆に他
県からの流入も増えています。
秀岳館高校のようにブラジル
人や韓国人留学生を受け入れ
たり、私立高校ならではの独
自のカラーがあります。そうし
た中で、厚先生の学園大付属高
校もソレックス熊本との繋がりが
あったり、秀岳館も地域のクラ
ブチームを持っています。そう
やって、青森山田高校に代表さ
れる「中高一貫指導」を謳う学
校は、力を付けてきていますね。

厚 確かに本校は、(他校に比べ
て)ソレックス出身の部員が多い
です。ただ、特待制度もありま
せんし、入試の点数が足りずに
止むを得ず他校に進む子や、J
ユースからスカウトされて県外
に行く子もいます。そうした中
で、ユースがあつた子たちは本
校を選んで来てくれているの
で、ありがたいと思っています。

平岡 いろんな特色を持った
チームが県内にあれば、子ど
もたちの選択肢は広がります。
しかし、自分に合った学校が
県内にはないと感じる子は、
県外の高校やJユースを選ぶ
でしょう。しかしそれは、「こ
こにいけば自分が変化できる」
という15歳の決断ですから、
県外流出を問題視するのはナ
ンセンス。日本のサッカーが良
くなるためには、アスリートパ
フォーマンスを上げることが第
一。現に今は、若くて才能のあ
る選手たちには海外へ行くこ
とも勧めているわけですから、
そんな時代に県外流出を問題
視するのは、とても視野の狭い
話だと感じます。

―では「サッカーと教育」とい
う観点で、大人の入り口であ
る2種年代の高校生たちに身
に付けてほしいこと、そのた
めに教員・指導者としてどう
関わるべきかを聞かせてくだ
さい。
厚 子どもたちは、これから
先、何が起るか分からない
社会を生きていかなければい
けません。そこで本校では、総
合学習の時間を使い、自分自
身で興味を見つけ、そこから
新しいものを作り出す「深学科
プログラム」に学校全体で取
組んでいます。部活動の中
でも、生徒が自分たちで課題を
見つけて解決策を考え、私た
ちはそれを手助けするイメ
ージです。私自身、若い頃は「生
徒にやらせる」ことが多かった
ですが、これからの時代を生き
抜いていくため、いかに自分か

―最後に来年度の運営などの
目標を聞かせてください。
厚 できるだけ早く元の状態
、例えば応援や歓声がある中で
プレーできる環境に戻してあ
げたいですね。安全は担保し
ながら、どうしても安全な場を提
供しながら、好きなサッカーが
できる環境を作れるか。私たち
が「今」を変えなければ、子ど
も達の「未来」は変わりません。
日常の「新しい生活様式」の中
に、サッカーを通しての新しい
スポーツ文化が成熟していく
ことを期待しています。

県協会所属チーム紹介

Vol.13

Pick-up! Football Family

このコーナーでは、熊本県サッカー協会に所属しているチームの中から、毎号紹介します。今後紹介してほしいチームも募集しています(自薦・他薦を問いません)。



- 1 競技者として九州選抜や日本代表を目指す人、楽しみながらプレーしたい人と、選手の目標はさまざま
- 2 インタビューに答えてくれた戸上さんの得意なプレーは「強烈なシュート」
- 3 基本的なパス練習に続き、チーム分けをしてゲーム形式のメニューへ。ゴール前の攻防も熾烈

活動を通じて社会や地域と関わり、一人一人の成長につなげる



チームドラゴン

チャレンジド

- 設立／2008年
- 監督／湯原 徹
- 選手数／15名

〈チーム沿革〉

2008
(平成20)年

チーム発足

2015
(平成27)年

第1回ソーシャルフットボール九州地域大会3位



トレーニングは、同チームの活動に理解を示してくれた熊本市東区のエンフレンテ熊本スポーツクラブのグラウンドで実施しています

秋に行われるソーシャルフットボール全国大会に向けた九州予選と12月開催の九州・四国スカンピオカップ、春と秋の県内の大会が大きな目標ですが、何より参加している選手たちが楽しんで取り組むことを第一に活動しています。

統合失調症や発達障がい、躁鬱などの精神障がいを持つ人々を対象に、5人(＋女性1人)のチーム編成で、フットサルのルールに基づいて行われる「ソーシャルフットボール」。チームドラゴンは、益城病院に入院している方たちで2008年に発足した、県内のソーシャルフットボールチームの草分け的存在です。現在は県内在住で活動意欲のある人に広く門戸を開き、約15人の選手たちが週1回のトレーニングに汗を流しています。同チームの立ち上げに関わり、監督も務める益城病院勤務の湯原徹さんは「初期メンバーの中にはすでに自立した生活を送っている方もいて、(サッカーを通じて)働く意欲が生まれたり、コミュニケーション能力が上がるといった成果が表れています。選手のご家族からも『チームに出会えて良かった』と、嬉しい言葉をいただいています」と話します。

一個のボールさえあれば他者との関わりができ、技術的な習得度が低くても楽しめるというサッカーの競技特性を生かし、地域住民との交流などを通じて精神障がいを持つ方に対する偏見をなくすことにも取り組んでいます。

「ソーシャルフットボール」って何？

他の障がいと比べ、精神障がい者のスポーツ参加率は極めて低く、その内容もレクリエーションの範囲にとどまっていた。病気になったことから自分に自信が持てない、自分には価値がないと思ってしまう人も多くいます。そこでフットボールを通じて自信を持ち、仲間を持った人がモデルケースとなり、「自分にもできるかも」と思ってもらえるような好循環を広げていきたい。そんな想いを持って設立されたのが、「日本ソーシャルフットボール協会」です。

「ソーシャルフットボール」という名称は、イタリアで行われているcalciosociale(英訳／social football)に由来します。年齢・性別・人種・貧困・家庭環境・障がいなど、あらゆる違いを超えて社会連帯を目指したフットボール文化です。2011年に日本の精神障がい者フットサルチームが初の海外遠征をした際にcalciosocialeに触れ、その理念に敬意を表して協会名としました。現在はルールを一部修正したフットサルとして、各地で普及が進んでいます。

※特定非営利活動法人日本ソーシャルフットボール協会 HP より抜粋

Player's Comments

週1回の活動を楽しみに毎日を過ごしています

永田 雄大さん

湯原監督に誘われて始めました。ボールを蹴るのは小学生の頃以来ですが、一緒に楽しめる仲間ができたことが嬉しく、苦手だった人との会話も少しずつできるようになってきました。週1回のチームの活動を、いつも楽しみにしています。



活動を通じた経験や成長を生活にも生かしたい

戸上 巖夫さん

楽しみながらも熱量を持って取り組んでいるのがチームの魅力です。フットサルを通して学んだことや努力した経験を成長につなげ、それぞれの生活や仕事に生かせるようになることも目標で、私も生活に張りを感じるようになりました。



熊本サッカー今昔物語

(第一回)

熊本県サッカー協会は、現在設立72年を迎えています。このコーナーでは県サッカー界の歴史を振り返り、かつてを知る方々に時代と共にサッカーがどう進化し、どう地域に根付いてきたかをひも解いていただきます。「今」のサッカーが、どのような歩みを経て、ここまで発展してきたかを、多くのサッカーファミリーの皆さんにも知っていただければと思います。記念すべき第1回は、前川隆道会長自ら筆を執っていただきました。

時代と共に移り変わった環境と道具
日本サッカーの発展に伴って進化

熊本県サッカー協会 会長 前川 隆道

私が現役時代だった今から約50年前、サッカーで「日本がW杯に出場する」など夢のまた夢でした。しかし、1998年のフランス大会を皮切りに7大会連続出場を果たすなど、日本サッカーを取り巻く環境は大きく変わってきました。私は、サッカーの昔と今を、「道具」という視点で振り返ってみたいと思います。

今では芝のグラウンドが数多く整備されてきましたが、昔はほとんどが「土」。大会が行われる競技場でさえ大半は土で、国体の準決勝以上でない芝のグラウンドでの試合は経験できない時代でした。現在は一般的になっている人工芝のピッチも、当初は滑りやすく、転倒してこすると火傷のようになるため、試合前にたつぷりと水をまく必要があったのを覚えています。

また、ゴールポストも以前は木製で、グラウンドに直接埋め込んでありました。そのため、バーがたわんだり、グラウンドに新たに土を入れると、その分だけポストの高さが低くなったりということも。その後、鉄製のゴールができて移動可能になったものの、重量が重く移動に多くの人手が必要で、倒れて不幸な事故が起こることもありました。

サッカーに欠かせないボールも、時代と共に大きく変わった道具の一つです。昔は、表面の皮と空気の入ったゴムチューブの部分が別々になっていて、空気を入れる作業はとても面倒でした。しかも、失敗するとまた空気を

入れるところからやり直すことになったり、外の皮が使っているうちに伸びたり変形したりということもしばしばでした。現在では材質も変わり、変形などもなく扱いやすくなりましたが、何より違うのはよく飛ぶようになったことだと思います。

同じくサッカーをする上で不可欠な道具であるスパイクですが、かつては作業用の安全靴のように硬くて分厚いものでした。しかも現在のものにスポーツ用品店の店頭に並んでいる訳ではなく、店で紙とエンピツで足型を取り、それをメーカーに送ってオーダーメイドで作ってもらったという面倒な手順でした。あの時代からすると、現在の軽くて動きやすいスパイクはとてもうらやましい(笑)。

たまに古い試合の映像などがテレビで流れると、何より違いを感じるのは選手たちの「見た目」、つまりユニフォームです。選手たちの体型が昔よりもスマートになっているせいもあるでしょうが、何よりデザインや機性能性が洗練されています。当時のユニフォームといえば、季節によって長袖・半袖ぐらいいはあったものの、生地も重く、吸湿性・速乾性も今のものには遠く及びませんでした。また、パンツの丈も今よりもずっと短く、まさに「短パン」。そのため、スライディングすると太ももをすりむいてしまい、なかなか治らなかつたのです。ソックスも今のように入りにくく、履いたあとに上の部分をひもでしばって練習や試合中に落ちないようにしたり、使い古しの靴下を重ね履きして破れても大丈夫なようにしたりと工夫しました。

こうして振り返ると、今の若いサッカーファミリーの皆さんには、まるで想像のつかない環境でプレーしていたことがお分かりいただけるかと思っています。ただ、今も昔も変わらないのは、サッカーを愛する人たちの情熱です。これからも、県サッカー界の強化・発展のために、微力ながら尽くしていこうと思います。

スタジアムで ロアッソ熊本を応援しよう!

J リーグの2021シーズンも開幕し、現在J3のロアッソ熊本も、3月14日のFC今治戦を皮切りに熱戦を展開しています。熊本県サッカー界の今後を見据えた時、地元「J」のチームがあるのとないのとでは、サポーターの数や熱気はもちろんのこと、地域内の競技人口や県全体のレベル向上という面でも大きな違いがあります。また、そうしたものが、J2、J1とカテゴリーが上がるのに比例して増加・向上するのも現実です。

我々がロアッソ熊本も、ここ3年間はJ2昇格が叶わず足踏み状態が続いています。それに伴って、チームの支えとなるべきサポーターの熱気もやや下降気味です。そんな時だからこそ、私たちがスタジアムに足を運び、精一杯の応援でチームのJ2昇格を後押しする必要があります。新型コロナウイルスの感染予防策が施されたスタジアムで、他のサポーターとの距離(間隔)もしっかりと取りながら、ロアッソ熊本を応援しましょう!

2021明治安田生命 J3リーグ／ロアッソ熊本ホームゲーム日程

節	日 程	対戦相手	試合会場
第4節	4月4日(日) 14:00～	VS テゲバジャーロ宮崎	えがお健康スタジアム
第6節	4月25日(日) 14:00～	VS ヴァンラーレ八戸	えがお健康スタジアム
第8節	5月16日(日) 14:00～	VS AC長野パルセイロ	えがお健康スタジアム
第10節	6月6日(日) 14:00～	VS アスルクラロ沼津	えがお健康スタジアム
第12節	6月20日(日) 19:30～	VS ガイナーレ鳥取	えがお健康スタジアム
第15節	7月11日(日) 19:00～	VS いわてグルージャ盛岡	えがお健康スタジアム
第17節	9月5日(日) 時間未定	VS FC今治	えがお健康スタジアム
第20節	9月26日(日) 時間未定	VS 福島ユナイテッドFC	えがお健康スタジアム
第21節	10月3日(日) 時間未定	VS 藤枝MYFC	えがお健康スタジアム
第24節	10月24日(日) 時間未定	VS カマタマーレ讃岐	えがお健康スタジアム
第27節	11月14日(日) 時間未定	VS カターレ富山	えがお健康スタジアム
第28節	11月21日(日) 時間未定	VS Y.S.C.C.横浜	えがお健康スタジアム
第30節	12月5日(日) 時間未定	VS FC岐阜	えがお健康スタジアム

■試合日程・チケットに関する詳しい情報はロアッソ熊本公式HPをチェック!

<https://roasso-k.com/>



「熊本県なでしこプロジェクト」進行中!

熊本県サッカー協会(以下、KFA)では、昨年から県内の女子サッカー選手の強化並びに底辺拡大を目的とした活動「熊本県なでしこプロジェクト」を実施します。このプロジェクトは、県内の多くの女子サッカー選手が集い、互いに刺激を与え合ったり、繋がったりしながら、より高い目標に向かってチャレンジする選手を増やすとともに、熊本を元気にする人材の育成を推進することを目的としています。

**2022年国体での本大会出場を目指す
U12・15年代の育成・強化の取り組み**

国民体育大会では、2022年開催の第77回大会「いちご一会」とちぎ国体「栃木県」から、サッカー競技に新たに「少年女子」が創設されます。これを受け、KFAではそれまでの女子トレセン兼スクール事業を見直し、昨年から「熊本県なでしこプロジェクト」として活動を行っています。

「熊本県なでしこプロジェクト」では、目的別に「トレセン活動」「スクール活動」の2つの活動を実施しています。「トレセン活動」は、国体サッカー競技の「少年女子」での本大会出場を目標に、U12からU15選手までの育成・強化を目的としたものです。併せて、U17カテゴリーは成年女子の国体強化事業と位置付けて活動しています。

もう一つの柱は「スクール活動」です。初心者選手向けに「はっぴー」をテーマに、サッカーを楽しむ場を提供しながら、サッカーの基礎や基本的なトレーニングを中心に、競技スポーツへの関心を促し、選手の確保(底辺拡大)に繋がります。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、当初予定していた4月のトレセンの選考会や6月までの定期トレーニングなどは中止せざるを得ませんでした。7月から活動をスタート。県民総合運動公園スポーツ広場や宇城市立ふれあいスポーツセンター(宇城アカデミー)、嘉島町総合運動公園などを会場に、各カテゴリーとも月1～2回の定期トレーニングを開催し、毎回「ボゼッション」パス&コントロールなどテーマを設けてレベルアップに取り組んでいます。

トレセン、スクールとも、毎回20～30人前後が参加。各回のテーマに沿って約2時間のトレーニングに励んでいます

■熊本県なでしこプロジェクトに関する詳しい情報は熊本県サッカー協会HPをチェック!

<https://kumamoto-fa.net/>



Result

各カテゴリー大会結果報告

県サッカー協会の各カテゴリーの試合結果をお知らせします。

県内大会・県予選

〈1種 学生〉

KFA 2020年度大杉杯争奪熊本県学生リーグ大会

日程：2020/10/17～11/1
会場：熊本大学グラウンド 他
結果：Aグループ優勝／熊本大学医学部
Bグループ優勝／熊本学園大学

〈2 種〉

KFA 第99回全国高等学校サッカー選手権熊本県大会

結果：優 勝／ルーテル学院高校
準優勝／熊本国府高校
第3位／大津高校、鎮西高校

KFA 第16回熊本県高等学校女子サッカー選手権大会

結果：優 勝／秀岳館高校
準優勝／東海大学付属熊本星翔高校
第3位／慶誠高校

令和2年度県下高校サッカー大会

結果：(男子)
優 勝／大津高校
準優勝／熊本国府高校
第3位／秀岳館高校、鹿本高校
(女子)
優 勝／秀岳館高校
準優勝／東海大学付属星翔高校
第3位／慶誠高校、ルーテル学院高校

〈女 子〉

KFA 第28回U-12さわやか女子サッカー大会

日程：2021/2/13～14
会場：熊本甲佐総合運動公園(緑川リバーサイドパーク)
結果：優 勝／熊本ユナイテッドSCエーマ
準優勝／MELSA熊本FCボニータ
第3位／益城ルネサンス熊本FCジュニア

JFA 第25回全日本U-15女子サッカー選手権大会熊本県大会

日程：2020/9/21～22
会場：熊本甲佐総合運動公園(緑川リバーサイドパーク)
結果：優 勝／MELSA熊本FC
準優勝／ほくぶ総合ヴェルストレーラ
第3位／熊本ユナイテッドSC

KFA 第9回熊本県U-18女子サッカー選手権大会
兼KYFA 第24回九州U-18女子サッカー選手権大会

日程：2020/8/22～23
会場：熊本県民総合運動公園スポーツ広場
結果：優 勝／MELSA熊本FCアマール
準優勝／益城ルネサンス熊本FC
第3位／熊本ユナイテッドSCフローラ

KFA 第39回熊本県女子サッカー選手権大会
兼KYFA 第38回九州女子サッカー選手権大会熊本県大会

日程：2020/8/29～30
会場：エコパーク水保陸上競技場
結果：優 勝／八代フューチャーズレディース
準優勝／熊本ユナイテッドSCフローラ

KFA 第30回熊本県U-12女子サッカー選手権大会
兼ガールズエイト(U-12)サッカーフェスティバル
第7回なでしこMIYAZAKIカップ熊本県大会

日程：2020/10/10～11
会場：熊本甲佐総合運動公園(緑川リバーサイドパーク)
結果：優 勝／ピアンカスにしはら
準優勝／MELSA熊本FCボニータ
第3位／熊本ユナイテッドSCエーマ

KFA 第46回熊日学童オリンピックサッカー競技(女子の部)

日程：2020/11/3、8
会場：熊本甲佐総合運動公園(緑川リバーサイドパーク)他
結果：優 勝／ピアンカスにしはら
準優勝／MELSA熊本FCボニータ
第3位／ほくぶ総合ヴェルストレーラ

〈フットサル〉

KFA 第11回 九州U-15女子フットサル大会熊本県大会

日程：2020/10/4
会場：フットボールパーク御代志
結果：優 勝／Fragrant熊本
準優勝／なかよし会

KFA 第26回九州U-15フットサル選手権熊本県大会

日程：2020/10/3～4
会場：フットボールパーク御代志
結果：優 勝／FCヴィラノーバ
準優勝／エスペランサ熊本U15
第3位／なかよし会、ヴィラノーバ水俣U15

KFA 第26回全日本フットサル選手権熊本県大会

日程：2020/10/11、18、25
会場：大矢野総合体育館
結果：優 勝／エンフレンテ熊本
準優勝／EGOISTA

第6回九州ジュニアフットサル大会熊本県大会

日程：2020/11/22
会場：フットボールパーク御代志
結果：優 勝／アズブリーノ熊本
準優勝／JSCフォルサ
第3位／エスペランサ熊本U-12、カベッサ熊本



九州大会

〈1種 学生〉

KYFA 第27回九州高等専門学校(U-19)サッカー大会

日程：12/19・20
会場：大津町運動公園
結果：優 勝／久留米高専(福岡)
(熊本高専熊本キャンパス：第8位、
熊本高専八代キャンパス：第6位)



〈女 子〉

KYFA 第38回九州女子サッカー選手権大会

日程：2020/10/10～12
会場：SAGAサンライズパーク球技場(佐賀)
結果：優 勝／全保連琉球デイゴス(沖縄)
(八代フューチャーズレディース：1回戦敗退、
東海大学付属熊本星翔高等学校：1回戦敗退、
熊本ルネサンスFC：2回戦敗退、
秀岳館高等学校：2回戦敗退)

KYFA 第24回九州U-18女子サッカー選手権大会

日程：2020/10/17～18
会場：大津町運動公園多目的広場
結果：優 勝／ANCLASノーヴァ(福岡)
(MELSA熊本FCアマール：準決勝敗退)

KYFA 第5回九州U-15女子サッカー選手権大会

日程：2020/10/24～26
会場：永添運動公園(大分) 他
結果：優 勝／神村学園中等部(鹿児島)
(MELSA熊本FCソヒーア：2回戦敗退、
ほくぶ総合ヴェルストレーラ：1回戦敗退)

➡大会結果、7ページからの続きです

KYFA 第31回九州高等学校女子サッカー選手権大会
日程：2020/11/7～10
会場：大津町運動公園多目的広場
結果：優 勝／神村学園高等部(鹿児島)
(秀岳館高等学校：準決勝敗退、
東海大学付属熊本星翔高等学校：1回戦敗退)

**JFA U-12ガールズゲーム2020
KYFA第7回なでしこMIYAZAKIカップ**
日程：2020/11/22～23
会場：宮崎県総合運動公園サッカー・ラグビー場(宮崎)
結果：2位グループ・2位：ピアンカスにしはら
3位グループ・3位：MELSA熊本FCポニータ



〈フットサル〉

KYFA 第11回九州U-15女子フットサル選手権大会
日程：2020/11/28～29
会場：大矢野総合体育館
結果：優 勝／casa okinawa ale(沖縄)
準優勝／アンペリアル島原(長崎)
第3位／Fragrant熊本、
HKSCリンドーゼ霧島(鹿児島)

KYFA 第25回九州U-15フットサル大会
日程：2020/11/28～29
会場：那覇市民体育館(沖縄)
結果：優 勝／北谷中学校(沖縄)
準優勝／FLOREN ACE(鹿児島)
第3位／FCヴィラノーバ水俣(熊本)、
セントラルFC宮崎(宮崎)

KYFA 第17回九州女子フットサル選手権大会
日程：2020/9/26～27
会場：SAGAサンライズパーク総合体育館大競技場(佐賀)
結果：優 勝／Primeiro熊本
準優勝／ALEGRE CAMINHO(佐賀)
第3位／ESQULA(沖縄)、
NODA FUTSAL CULB Claro(大分)

全国大会

〈女 子〉

JFA 第29回全日本高等学校女子サッカー選手権大会
日程：2021/1/3～10
会場：三木総合防災公園、いぶきの森球技場(兵庫) 他
結果：優 勝／藤枝順心高等学校(静岡)
(秀岳館高等学校：1回戦敗退)

〈フットサル〉

JFA 第17回全日本女子フットサル選手権大会
日程：2020/10/30～11/1
会場：よつ葉アリーナ十勝(北海道)
結果：優 勝／SWHレディース西宮(兵庫)
準優勝／バルドラール浦安ラス・ポニータス(千葉)
(Primeiro熊本：1回戦敗退)

トレメシ Vol.13
アスリートのための「トレーニング食(めし)」、レシピ

このコーナーでは、サッカープレーヤーをはじめ、アスリートのパフォーマンス向上に欠かせない栄養たっぷりのレシピを紹介します。ぜひお試しください！



春は芽吹き季節。さまざまな食材の中でも、菜の花、春キャベツ、アスパラ、タケノコ、新玉ねぎ、そら豆などの「春野菜」は、冬にため込んだパワーがぎゅっと詰まっています。特に栄養価が高いと言われています。独特の苦味を楽しみながら春野菜をたっぷり摂ることで、季節の変わり目の体調を壊しやすい時期を乗り越えましょう！

渡邊 まみさん／食育料理研究家、アスリートフードマイスター
熊本を拠点に大分でも料理教室の講師として活躍する傍ら、熊本県民テレビ「てれびタ」にも出演中。現在、大学生の長男はサッカーをしているため、アスリートの食事にも精通。Instagram (mamipan358) で情報発信中。

recipe 1 **菜の花とあさりのパスタ**



■材 料(2人分)	
パスタ	160g
菜の花	2束
あさり	200g
白ワイン	大さじ2
ニンニク	1片
オリーブオイル	大さじ2
塩こしょう	大さじ1～2
ブラックペッパー	少々
水	2カップ
鷹の爪	1本
ミニトマト	10個

普通はパスタだけを茹でますが、あさりと一緒に茹でることで魚介のうま味がしっかりと麺にも入って、あっさりなのに深い味わいに仕上がります！

- 【作り方】
- ① フライパンにオリーブオイル、ニンニクを入れて香りが立ったら、あさり、塩こしょう、鷹の爪を入れて炒める。
 - ② そこにパスタと水を入れ、一度かき混ぜてからフタをして、弱火でパスタと具材と一緒に茹でる。
 - ③ 表示されているパスタの茹で時間の2分ほど前になったら、菜の花、白ワインを入れて強火で炒め合わせ、最後にブラックペッパーで味を調えたら出来上がり！

recipe 2 **玄米ときな粉のベジクッキー**



■材 料(2人分)

玄米粉100g

きな粉100g

ココナッツシュガー...50g

ココナッツオイル ...50cc

豆乳50cc

ベジパウダー20g

- 【作り方】
- ① 材料をすべてボウルに入れて混ぜ合わせる。
 - ② こね上がった生地をのばして包丁で好きな大きさにカットする。
 - ③ 180℃に予熱したオーブンで15分焼いて出来上がり！

アスリートにとっては、“おやつ”も重要な栄養源。食べる量は少なくても、しっかりとエネルギーになるように、栄養価の高い食材を選んで使うようにしましょう！

「KFA NEWS」は、ここで手に入れよう！

「KFA NEWS」は、サッカー協会員以外の一般の方でも手にいれることができます。事務局にお越しいただくか、下記URLからダウンロードできます。

<http://kumamoto-fa.net/about/news/>

右記QRコードからもアクセスできます➡

編／集／後／記

コロナ禍での生活も早1年が経ちました。大会やフェスティバルなども徐々に開かれるようになってきましたが、まだまだ多くの制限があり、厳しい状況が続いています。審判委員会でも研修会がWeb(オンライン)での開催になったり、実技がなかなか行えないなど、選手同様にモチベーションの維持が難しい状況です。以前のように思い切ったサッカーが出来る環境に、1日も早く戻りたいと願うばかりです。(廣田)

今年度は、コロナ禍での緊急事態宣言に伴い、大会の延期、練習試合の中止をせざるを得ない状況でのスタートでしたが、ようやく徐々に大会等が開催され始めました。大会は練習でのモチベーションにもつながり、選手の皆さんのトレーニングに対する意識も上がるようです。ただ、まだまだコロナ禍の状況も油断なりません。大会等の実施にあたっては、検温、消毒、名簿の提出など万全を期しており、関係者のご苦勞には感謝してもしきれません。こうした時だからこそ、今サッカーができることに感謝し、サッカーを通して選手やその家族、友人に笑顔の輪が広がっていくことを願っています。(山本)